

昭和二十二年三月三日

昨年十二月九日より、二月末日迄、舎は閉鎖とす。

現在舎生十三名、ストーブは娯楽室、勉強室の二つのみたいてゐる。

舎修繕寄附は大体九日迄に全部集める予定。

郵便はがき 札幌市北五條西九丁目 青年寄宿舍 御中	X啓 御隆昌 XXXXXXXX 御XXの寄附の件は封X にて宜しきものに候や、又は現金に 依 るものXXや、一應御伺申XX 十月二十二日 東京都芝區高輪北町四八
--	--

三月十七日

新年度予算につき会合、次の如く決定

傭人費 月四百円 ボーナスマ加へ 總額六千円

部費 二千円 内譯左の如し

運動部 (テニス) 三〇〇、〇〇 外に、土俵、鉄棒作成

文藝部 雑誌二〇〇、〇〇 雜費四四〇、〇〇

リーダーズダイジェスト六〇、〇〇 計七〇〇、〇〇

勤労部 スコップ一〇〇、〇〇 雜二〇〇、〇〇

カマー一〇〇、〇〇 計四〇〇、〇〇

雜費 六〇〇、〇〇

四月二日

都合により本日、三月分の決算をなす。最高一人二〇〇円也。決算の後、リーダー制、新入舎生、その他につき二、三相談せり。

四月三日

評議員 (市外) へ評議員会 (四月二十四日) の委任状を書く。

四月十五日

午後六時より會合、村上君提唱のリーダー制の事につき論ぜしも、結局非採用。

毎週月曜朝一時間アルバイト後、會合する事となる。副舎長選挙の結果、草地君と決定。

各人の希望、及、籤により部屋替を行ふ。

新入舎生を相談し決める。

四月十七日

副舎長事務引きつぎ行ふ。

四月十五日

副舎長選挙の結果、草地君がやることになり相談の結果次の事項を決定す。

一、毎週月曜六時半起床、全員舎の仕事をする事、其後七時半より三十分間會食

- 一、運動部 三角君
- 文化部 世木沢君
- 会計 平君
- アルバイト部 上野君

以上の四君に各部長をやってもらふことにする。

一、理事会延期の件

一、新入舎生の件

以上の四件につき決議す。

四月二十一日（月）

雨のため全員六時半起床、舎内の掃除をなす。其後會食しつゝ談話、次の事項をきめる。

一、オルガン、ピンポンは午前八時より午後七時までとする。

一、ヒーターの使用の件

一、榊原君の寄附金の使用方法

一、農機具、種子の購入の件

五月一日（日）

四時より評議員會を開く。出席者、奥田先生、高松氏、若松氏、亀井氏、平戸氏、今井氏の六名、二十一年度決算、二十二年度豫算をなす。後、寄宿舍修繕の相談、四室を板ばりにすることにする。後、宮部先生、米寿のお祝いの計画、舎生より二名、先輩より二名の準備委員を出す事、期日は六月か七月、夏休み直前、場所、植物園と大体決定す。五時より、新入舎生、吉田、中田、坂井の三君の歓迎會をなす。これには宮部先生来席さる。

會次第は次の如し

一、開会の辞

一、新X副舎長挨拶

一、會食

一、舎生歓迎の辞

一、副舎長歓迎の辞

一、舎長歓迎の辞

一、宮部先生おはなし

一、閉会の辞

五月四日（月）

数日前から起った舎同一生、今度の土日を利用して何処かへ遊びに出かけようといふ意見につき相談、結局種々な都合にてやめることにする。其他、二十九日までに大掃除をすべきこと、協同組合より木炭を買うことについて、ヒーターの件、食糧問題について話し合

ふ。

六月四日

宮部先生、米寿の祝の準備を第一回目として時田先生教授室にて開く。十二時半より開き、出席された先生は時田、亀井、平戸の三先生、草地、北野、平の三舎生が出席す。

相談事項

一、期日は十三日（日曜）午後三時より

一、場所 青年寄宿舍

一、招待者 道内先輩 宮部先生家族 館脇先生、石田、伊藤

一、會様式

A．三時より式 祝辞は極めてかんたんにする。舎長、先輩、副舎長
ミルク、オダンゴ、果物（苺、又はさくらん坊）

B．植物園にて記念撮影

C．晚餐

テーブルスピーチ

ちらしずし、サラダ、吸物、肉、魚

D．余興

劇、合唱など

一、記念品

米一俵、紅白餅

一、準備方法

記念品代として一口二拾円として先輩方々から募る

来た人に會費として三拾円を戴く

七月三日（木）

第二回準備會を時田教授室にて開く、出席者、時田、亀井、平戸の三先生、北野、草地、平の三舎生

相談事項

一、五千円豫定の寄附金が二千円程度にしかならぬので、不足に対する対策

記念品として差上げるお米を半俵に減らすことにする

一、會費を五拾円程度にする

一、有力者に再寄附を願ふ

七月十三日（日曜）

午後三時より宮部先生米寿の祝いをする。出席者、宮部先生他、河村、北村、徳田、亀井、時田、平戸、青木（三哉）、青木（金作）樋浦、菅沼、望月、今井、若松、奥田、逢坂の十五先輩、石田さんの十七名

會次第

一、祝賀會

- 一、開會の辞
- 一、お祝ひの言葉
- 一、記念品贈呈
- 休憩、記念撮影

一、記念晩餐會

- 一、テーブルスピーチ
- 一、先生お話
- 一、閉會の式

一、自由談話

十月十七日

奥田先生、教授就任の内祝を寄宿舍にて午後五時より宮部先生の御出席を戴きさゝやかに家庭的にする。

十一月三日（月）

第四十九回記念祭を午後四時より寄宿舍に於いて宮部先生、奥田先生、亀井先生、北村先輩、若松先輩、逢坂先輩、望月先輩の御出席の下に開く。

十一月十五日（土）

戦後復活第一回月次会を午後六時より開く。昨今の夜道の危険のため先輩、及先生はお呼びしなかった。司會、河瀬君、辯士、左の如し

- | | |
|---------------|------|
| 一、可動橋 | 中田君 |
| 二、温床について | 中川君 |
| 三、スペクトル分析について | 泉田君 |
| 四、蛍光体 | 世木沢君 |
| 五、ヒューマニズムについて | 村上君 |

質問多く盛會裡に午後九時頃閉会す。後、冬期休暇中の閉寮問題につき相談し、残舎するものの石炭代、小母さんのボーナス代等を決めた。

十一月二十四日（月）

豫科生諸君の試験始まる。

十一月二十六日

村上君と本格的に五十年史のへんさんにとりかかる。

50 枚目の欄外に記載の貯金通帳のメモは下記です（大川記）

貯金通帳	（公区）
原簿所管	小樽貯金支局
記号番号	らい43738
氏名	青年寄宿舍